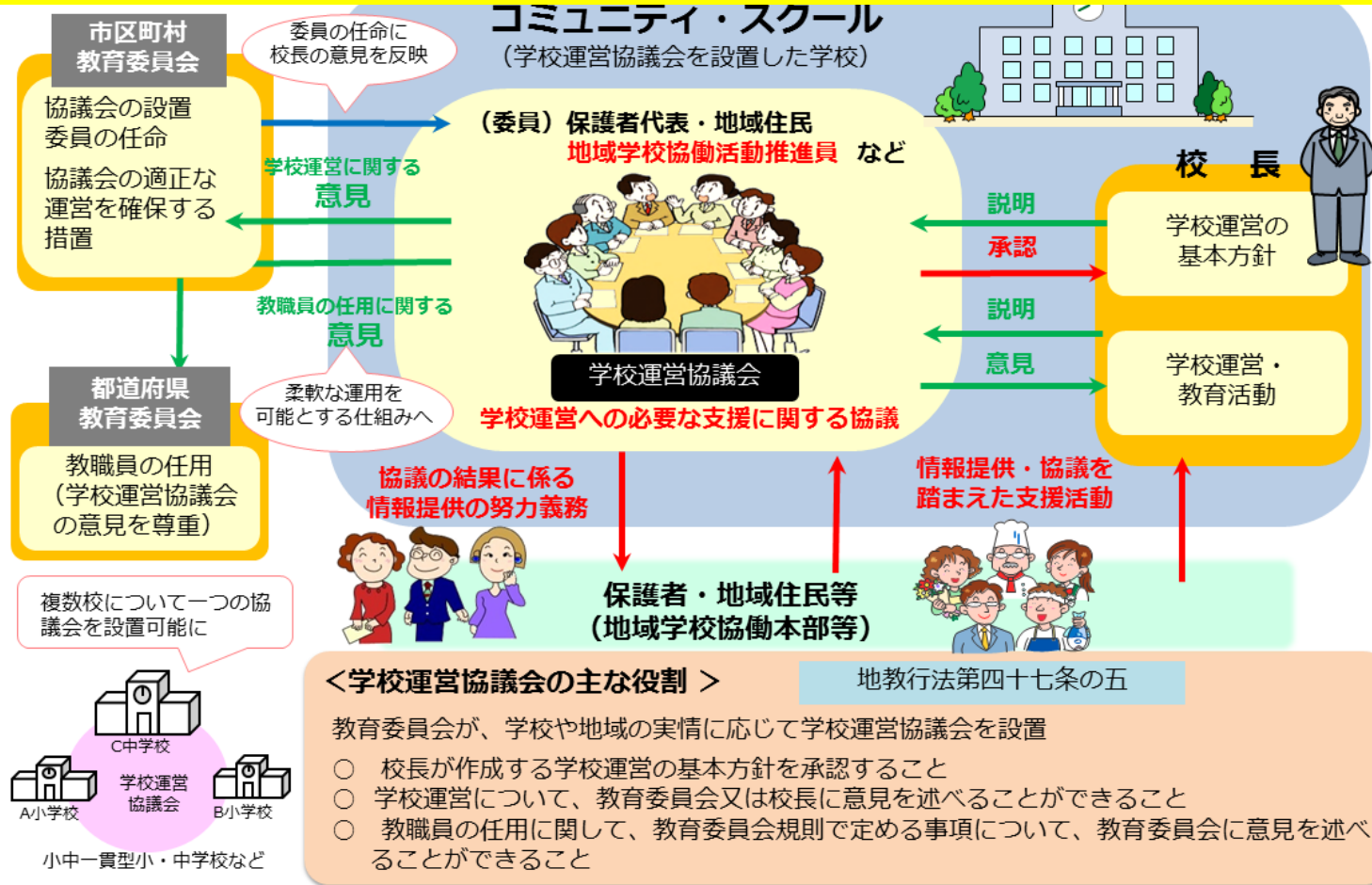


# コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の仕組み



## コミュニティ・スクールが目指すもの

- ① 学校と地域の「連携・協働」を大切にしていく。
- ② 未来を担う子どもたちの豊かな成長を「社会総がかり」で支える。
- ③ 子どもたちを「どのように育てていくか目標を共有する。」
- ④ 学校と地域住民が力を合わせて学校運営に取り組む「地域とともにある学校づくり」への転換を図る。

# 富士中央小における 「コミュニティ・スクール」

- ・ 地域住民及び保護者等と学校が一体となった  
学校運営や児童の健全育成に取り組む。

- ・ 学校を核とした「地域創生」が目的である。  
「富士北地区の人々をつなぐ」 「富士北地区の絆をつなぐ」  
「富士北地区の未来をつなぐ」

- ・ 子どもたちは、学校の宝であると同時に、富士北地区の未来を担う大切な宝である。

地域住民と学校が意見を手を携えて子どもたちを支えていく。

# キーワード「継続と責任」

・子どもたちは、学校の宝であると同時に、富士北地区の未来を担う大切な宝である。

・学校は先生のものではなく、地域のものである。校長や教員が入れ代わっても変わらない学校にする。

先生は風である。学校を大木に例えるなら、地域は大木が根を張る大地である。大地が元気でないと、大木も元気になれない。

・「多様性の時代になり、学校だけでは子どもの教育は無理な時代になった。学校・家庭・地域が一体となって社会総がかりで教育を進めなければならない。」